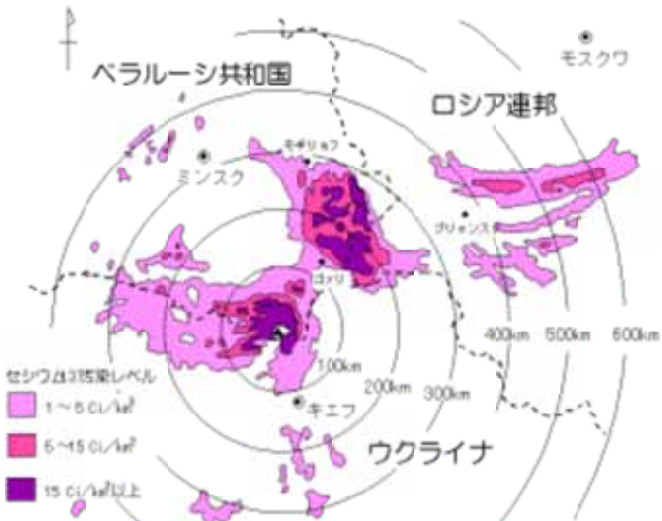


原生会ニュース

2009年
7月5日

原発の危険から住民の生命と財産を守る会(略原生会)
代表 庄司 捷彦
連絡先 高野 博
(53)3614
ご意見・ご要望をお寄せください

危険がいっぱい、無謀なプルサーマル計画の中止を



チェルノブイリ事故では高濃度汚染地域は300⁺Ci/km²に及びました。いまだに30⁺Ci/km²圏は非居住区域です

東北電力が戸別訪問を行い、さらに地区説明会を行っています。そこで、プルサーマルの問題点を特集しました。

使用済みMOX燃料は女川に長期保管?

市民のみなさん。県民のみなさん。プルサーマルを受け入れたら、いまよりもっと汚い、行き場のない、使用済みMOX燃料が、県内に長期保管されることになります。東北電力は、「20年間ぐらいいは安全に保管できる」と説明しています。

政府の原子力政策大綱では、「(処理は)2010年ごろから検討を始める」としています。このように使用済みMOX燃料の

行く先は、現在、何も決まっていけないのです。高速増殖炉の原型炉「もんじゅ」が14年前ナトリ

リサイクルというが、わずか1〜2割の節約?

政府の原子力大綱でプルサーマルにおいて「ウラン資源の1割から2割の節約効果」とされています。しかも、プルサーマルで使った燃料は一回限りです。

MOX燃料から放射線、労働者の被曝が心配

「MOX燃料はウラン燃料に比べて放射線の量が多くなります」「取り扱う時間を短くし、距離を取り、遮へい体をつけるなどの対策を行う」と、ホームページで中部電力は説明しています。

重大事故が起きれば、被害は甚大に

事業者は「プルトニウムは焼結されており、粉状になつてサイトの外に運ばれていくことは、ありえない」と説明します。米核管理研究所のライマン博士は「JCO臨界事故は『安全だ、事故は起こるはずがない』という慢心が

ウム事故を起こし、青森の再処理工場もトラブル続きです。核燃料サイクルは困難を極めていきます。

最終処理の施策も決められないのに、プルサーマルを強引に実施することは絶対に許されません。

プルサーマルを行えば、ガンマ線や中性子線を出す超ウラン元素や専門家が「ダーティ」と呼ぶ厄介なプルトニウムが次々つくられます。これでリサイクルと言えるでしょうか。

電力自身認めているように、放射線量が多くなるという中で、下請けや孫受けの労働者が苛酷な作業をさせられるのです。本当に、労働者の被曝が心配です。

要因「同じような態度が日本の原子力計画から原発の規制にいたるまで蔓延している」と指摘します。

チェルノブイリ事故では、移住を要した高濃度汚染地域は300キロに及びました。皆さんの住まいと女川原発の距離はいくらですか。

プルサーマルって、女川町民の声・声・声



事故やトラブル続きで、なんだかわからないけど、おっかない・・・

電力の人が来て、よそ(玄海や伊方)でやっているといっても、私はいや。女川はトラブルが多いし、地震もある。資源再利用といっても、使い捨ての一回限りと聞いた。あとどうするのですか。プルトニウムを。

私は東北電力が「安全、安全」というのはどうかと思う。子供たちに「負の遺産」を残してはだめだと思ふ。

原発つくる前に、道路を解決すべきだったんだ。原発の中で働く人が、よけい放射能にさらされるんではないのかなあ。説明聞いても本当、わからない。なにもメリツトない。危険だけ。海は昔とすっかり変わつた。(浜のお年寄りの話)

六ヶ所村再処理工場から、空に海に放射能が放出されて

再処理工場は 原発1年分の放射能を1日で出す

海へは、六ヶ所村沖合3km、水深44mの海洋放出管の放出口から、トリチウム、ヨウ素、コバルト、ストロンチウム、セシウム、プルトニウムなど、あらゆる種類の放射能が廃液に混ざって放出されます。



空へは、高さ150メートルの排気筒から、クリプトン、トリチウム、ヨウ素、炭素などが大気中に放出されます。

原発であれば申請段階で操業出来ない量ですが、海水や大気の中で薄まるという理由で許可が出ています。

上の図は、原子力情報室・美浜の会の資料を参考に、全国のサーファの皆さんが作ったチラシの一部です。事業者は「基準値以内で放出している」としていますが、放出された放射性物質には半減期が長いものもあり、蓄積される危険があります。岩手県の沿岸自治体や、三陸の漁民のみなさんが不安の声を上げています。